

私は彼女と一緒に住む部屋を探しに行った どこも「同性同士はお断り」だった



恋愛や家族のカタチは色々あるってことが
広まればいいなあ *ippo.*

同性カップルで部屋を借りようとする、法的な親族ではないために、家主や不動産会社から断られてしまうことがあります。家を買う場合にも、同性カップルは、二人の収入を合算して住宅ローンを組むことは困難です。LGBTは、住む場所の確保にも困ることがあるのです。一方で、同性カップルに限らず、高齢化、ライフスタイルの多様化に伴い、親族以外の人と一緒に住みたい人も増えています。UR賃貸住宅では、2004年から「ハウスシェアリング制度」をつくり、多様なニーズに対応しています。どんな「家族」でも、安心して暮らせる社会となればいいですね。

このパネルは、平成28年度 淀川区LGBT支援事業の一環として、大阪市内のLGBT当事者の声を集めて制作したものです。LGBTは、以下の4つの単語の頭文字であり、ここでは性的指向や性自認におけるマイノリティ(少数者)の総称としています。

L レズビアン 同性を好きになる女性 **G** ゲイ 同性を好きになる男性 **B** バイセクシュアル 性別にかかわらず、同性を好きになることもあれば異性を好きになることもある人 **T** トランスジェンダー 出生届の性別とは異なる性別のあり方を望む人

LGBTは人口の5~8%程度とされていますが、学校、職場、地域など、自分の周囲にカミングアウトできない人も多く、見えにくいマイノリティです。このパネルは、そうした人たちの声を可視化する目的で制作しました。笑顔の裏にも見えにくい「困りごと」を抱えている人たちが自分の身の周りにもいるかもしれない、と、想像しながら見てほしいと思います。

